

浅草寺五重塔に 高耐久屋根瓦

東京・浅草の浅草寺 五重塔で、新日鉄住金のチタン材を使った屋根瓦にふき替える作業が完了し、報道陣に日公開された。従来使

新日鉄住金製チタン材

1973年の再建以



降、老朽化が進んだ塔全体を改修する工事の一環として、16年7月から屋根のふき替え工事を進めていた。全体の設計・施工を清水建設が担当し、社寺の建築で4000件余りの実績があるカナメ（宇都宮市）が瓦の成形と施工を手がけた。チタン製の瓦を約5万7000枚使っており、総工費は約6億円。

▲チタン屋根が完成した浅草寺五重塔

保守・修繕の手間省く

チタン表層を覆う酸化膜に手を加え、長年使い込んだような風合いを出しており、日本の伝統建築の粋を参拝者も堪能できそうだ。

本堂とその手前にある「宝蔵門」でも、土瓦からチタン製の瓦にふき替える工事を一足先に終え、屋根を大幅に軽量化した。チタン瓦は土瓦に比べて屋根に固定しやすく、11年3月の東日本大震災でも、落下事故は1件もなかったという。

【名古屋】菊水化学工業は、弱溶剤系の建築仕上げ材を生産する東海工場（愛知県瀬戸市）を7月12日に稼働する。投資額は十数億円。同社の国内にある既存4工場は水性の建築塗料を生産しており弱溶剤系工場は初めて。年間3000ト生産する。弱溶剤系は協力工場に外注していたが内製化により収益力を高める。同工場の敷地面積は4万9000平方メートル、2階建てで延